

市政記者各位

令和6年9月19日
福岡市経済観光文化局企業連携課
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

45地点もの気圧センサーで災害の予兆を検知する実証実験を開始！

ゲリラ豪雨や竜巻など、局地的・突発的に発生する災害事象は、その発生時間や場所を的確に予測することは困難とされています。

これら災害事象が発生する際には、「インフラサウンド」と呼ばれるごく僅かな気圧変動が発生することが知られています。今回は、福岡市実証実験フルサポート事業を活用して45地点に気圧センサーを設置し、このインフラサウンドを常時計測することで、災害事象とインフラサウンドの相関関係や、それを把握することにより局地的・突発的な災害事象の予兆を検知できるかについて実証実験を実施します。

記

1 実施事業者

九州大学 大学院理学研究院
地球惑星科学部門 中島准教授



2 実証実験について

○ 概要

ゲリラ豪雨や竜巻などの災害事象が発生する際に生じるインフラサウンドと災害事象との相関関係（波形、気圧の振れ幅等）を、気圧センサーを用いて計測します。

○ 主な検証内容

- ①災害事象の発生をリアルタイムで検知できるか
- ②災害事象の予兆を検知できるか

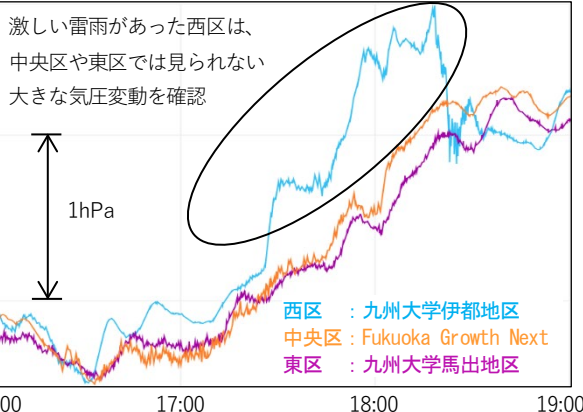
○ 気圧センサー設置場所

市内公民館など45地点

○ 設置期間

令和6年9月20日から約3か月間
(設置できた箇所から順次計測開始)

～インフラサウンド計測事例～
3地点の気圧変動の比較(令和6年8月27日)



※詳細は、実施事業者のリリースを参照ください。

【問い合わせ先】

○実証実験に関すること

九州大学大学院理学研究院
担当:中島
電話:092-802-4209
(地球惑星科学部門事務室)

○実証実験フルサポート事業に関すること

経済観光文化局企業連携課
担当:高村
電話:092-711-4879

